

# 地域（ふるさと豊田）とともにある学校をめざして

下関市立豊田中小学校

## 学校運営協議会について

- ①実施回数 年間3回開催
- ②主な協議内容
  - ・学校経営方針及び学校関係者評価について
  - ・学校支援活動、地域貢献活動について
  - ・学力向上へ向けた取組について
- ③コーディネーターの活動
  - ・学校運営協議会の司会進行 学校支援活動の連絡調整



## 特色ある活動

### ◆地域の方による学校支援活動

#### ○「丸付け先生」による「やまぐち学習支援プログラム」を活用した全校朝学の支援

実践開始3年目、毎週火・木曜日の全校朝学の時間に、地域の教職経験者をはじめ、登録者数10名の学習支援ボランティア(通称「丸付け先生」)が来校し、国語・算数プリントの採点やアドバイス等を行っています。(スタート以来、開催数162回、のべ942名の丸付け先生が支援)

このほかにも、「農業」「歴史」「裁縫」「料理」「茶道」「華道」「そろばん」等、地域協育ネットによる学習支援ボランティアが充実し、子供たちへの支援と交流の輪が広がっています。



### ◆児童による地域貢献活動

#### ○地域への感謝の気持ちを表現する「豊田中小 道の駅プロジェクト」の開催

11月28日、豊田町道の駅「螢街道西ノ市」を舞台に、児童企画による地域貢献活動「道の駅プロジェクト」を開催しました。自慢の歌声で幕開けした後、子供たちが考えたプログラム(抹茶のふるまいや肩もみ、昔の遊び等)、全校児童による劇「浮石義民」などで地域への感謝の気持ちを表現しました。

このほかにも、「グリーンハイツとよた」への訪問や通学路の清掃、伝統文化「鶏鬨踊り」「浦安の舞」「浮石義民法要」や公民館行事等への積極的な参加・協力といった活動も毎年継続して行っています。



## 来年度に向けて

- ・学校運営に参画し、パートナーとして児童の健全育成に取り組むコミュニティ・スクールと、家庭・学校・地域が連携して学校の教育活動を支援する地域協育ネットとの役割を明確にし、学校運営・学校支援体制を一層充実させていきます。
- ・保護者・地域からの支援に対して、子供たちが感謝の気持ちを表現し、「ふるさと豊田」に誇りをもち、将来的に「地域づくり」へ貢献できる実践者(人材)として成長するための取組「豊田中小 道の駅プロジェクト」を、今後も児童主体の持続可能な取組として定着させていきます。

# 「地域とともにある学校」をめざして

下関市立西市小学校

## 学校運営協議会について

主な協議内容(年3回実施：5月 10月 2月)

- ・ 学校運営方針・学校運営状況等の説明・承認，C・S西市小スタイルの組織づくり・各プロジェクト推進に向けての協議
- ・ ユニット型校内研修，各プロジェクトの取組状況・学校の諸課題に対する取組状況について（学力向上・学校安全・心を育てる），綱紀保持についての協議
- ・ 学校評価書の検討，来年度の組織・学校運営協議会の在り方についての協議

## 特色ある活動

### ◆ ユニット型校内研修の取組

実施日 平成30年10月19日(火)

参加者 24名(学校運営協議会委員，町内小中学校教員，本校教員)

内容 2年道徳科「ぐみの木と小鳥(思いやりの心)」の授業公開と授業についての研究協議を行いました。

当日は町内の先生方にも参観していただき、普段の校内研修の倍近い参観者に囲まれて授業が行われました。いつもと違った緊張感をもった授業は、授業者だけではなく児童にもよい経験を積むことができました。

その後行われた協議会では、2グループに分かれて話し合いをし、最後に発表をしました。各グループ、活発に協議が行われ、中身の濃い研修となりました。地域の委員さんからは、我々教員が気付かない視点からの意見も出され、とても充実した研究協議となりました。

協議中、地域関係の委員さんからは、「先生達こんな研修会をしていることをもっと広めていかなくてははいけませんね。」という感想もいただきました。



### 参加者の感想

- ・ 授業の準備がよくされていて、すごいと思うと同時に、保護者の立場からもとても感謝しています。
- ・ 授業に対して、こんな深い話し合いがされているとは、知りませんでした。先生達の熱意に感心し、安心しました。
- ・ 子供の反応が中学校とは違うなあと思うようになりました。発達段階について改めて勉強になりました。

## 来年度に向けて

学校運営協議会委員さんの中には、仕事の都合で授業から協議会まで全て参加できない方もいらっしゃいました。日程の設定についてできるだけ多くの方が参加できるように検討していこうと考えています。また、研修の様子などもっと発信していこうと考えています。

# 「地域とともに伸びる学校」をめざして

下関市立豊田下小学校

## 学校運営協議会について

- (1) 実施回数と主な協議内容
  - ・計4回実施（町内合同は、本年度中止）。
  - ・5/30「特色ある学校」の方向性を共通理解。
  - ・10/17進捗状況と1学期学校評価アンケート集計結果からの熟議。
  - ・1/11は、第2回協議会からの進捗状況と2学期学校評価アンケート集計結果から協議・意見交換。
  - ・2/27は「今年度の成果と来年度に向けた課題と手立て」を協議。
- (2) コーディネーターの活動
  - ・学校支援活動の計画・運営、ボランティア募集、連絡・調整を行っています。



第2回協議会（熟議）の様子

## 特色ある活動

### 1 地域の方の学校支援活動

#### (1) 学習支援

- ① 「しもっこクラブ」（月1回）
- ② 「読み聞かせ」（月1回）
- ③ J A豊田の食農指導による農園活動
- ④ 豊田町森林組合の椎茸栽培活動
- ⑤ 校区内のりんご園や町内の梨選果場の見学
- ⑥ 豊田下の化石の学習
- ⑦ 6年生の職場体験 など



マスコットキャラクター  
ほたモン



読み聞かせの様子（12月）

#### (2) 環境支援・安全支援

- ① 豊田下ネットワーク会議による登下校の見守り
- ② サンサンガーデンの草取り（月1回）
- ③ 植栽等の環境整備

#### (3) 地域貢献

- ① 地域のまつり参加やこども園・福祉施設訪問活動。
- ② 地区の夏祭りに児童が出店。
- ③ 各学年の生活科や総合的な学習の学習で校区内にある福祉施設「喜楽園」、「おいでんか」、こども園に訪問し交流を深めました。



9/10 豊田下の化石の話

### 2 地域住民が学校に集まる仕掛け

#### (1) 参観日等における見守りボランティア

- ・懇談会や教育講演会で在籍児童対象の託児を依頼し、保護者の参加率を上げています。

#### (2) 公民館と連携した情報公開

- ・隣接の公民館と企画の情報公開をし、地域住民の来校率に繋げています。

#### (3) 熟議の実施

- ・授業参観および授業評価、学校評価アンケートの結果等の熟議を実施しました。

#### (4) 児童の成長・変化、家庭・地域へのコミスク周知等に係る情報発信の工夫

- ・校報誌で毎月、地域連携行事での児童の成長に視点を当てた情報や学校ホームページを積極的に公開しています。

#### (5) 地域連携担当員（CS 担当者）の活動

- ・諸行事の企画・運営や、コーディネーターと教職員の連絡・調整を行っています。

## 来年度に向けて

学力向上と児童の自己肯定感を高めることが課題です。2/27の第4回学校運営協議会で、今年度の成果と課題の検証をし、来年度の方針と活動予定の確認を行い、「チーム学校」を構築し、地域や家庭と「ともに伸びる学校」として、新年度の方向性を決めました。

# 「地域と学校との連携」

下関市立豊田中学校

## 学校運営協議会について

(1) 委員の構成 11名

(2) 主な協議内容

① 4月（下関市立大学生6名参加）

- ・昨年度の活動の振り返りと本年度の取組について
- ・本年度の学校教育目標承認の確認ならびに学校の現状と課題について
- ・校内綱紀保持委員会 ・学校保健安全委員会
- ・いじめ防止対策委員会 ・本年度の事業計画

② 11月（下関市立大学生3名参加）

- ・熟議
- ・学校の取組について

③ 2月（下関市立大学生14名参加予定）

- ・学校関係者評価



↑ 熟議

## 特色ある活動

### 【熟議の実施】

実施日 平成30年11月9日（金）

15:45～17:15

会場 下関市立豊田中学校 図書室

テーマ 「地域と学校との連携～地域も元気、学校も元気になる取り組みは～」

参加者 学校運営協議会委員、下関市立大学生、豊田中学校生徒 計22名

概要 学校運営協議会委員、中学生（生徒会執行部役員）、下関市立大学生に参加してもらい、世代や立場を越えた視点から、テーマに沿って活発に意見交換を行いました。

サブテーマは、「中学生・中学校が地域に貢献できること」「地域の小・中・高・大で連携して取り組めること」「地域の人材を中学校で活用できること」「豊田の良さを活かして取り組めること」の4つとしました。

## 来年度に向けて

今年の熟議は、地域のニーズとそこに住んでいる中学生の視点、下関市立大学生からの提言があり、とても魅力的なアイデアが多く出されました。

今後、生徒会執行部を中心に企画を進めていくもの、学校で提案するもの等を振り分けながら、実現できるものを検討していきたいと考えています。

学校と地域とがしっかりと連携し合い「豊田の元気」につなげていきましょう。